

## 教育委員会協議会議題

平成17年12月21日

### 1 報告事項

- (1) 第7回城下町おだわらツデーマーチ結果について (資料1 スポーツ課)
- (2) 市議会12月定例会の質問及び答弁の概要について (資料2 教育政策課)
- (3) 教職員の不祥事について (資料3 学校教育課)
- (4) おだわらっこドリームシアターの開催について (資料4 学校教育課)

## 第 7 回城下町おだわらツアーデーマーチ開催結果

- 1 開催日 平成 17 年 11 月 18 日(金)・19 日(土)・20 日(日)
- 2 主会場 小田原城址公園銅門広場(スタート・ゴール)  
湯河原町立湯河原中学校(スタート)  
元箱根苑地(スタート)
- 3 コース \* 11 月 18 日...「せっかくコース 8km」  
\* 11 月 19 日...「曾我丘陵コース 30km」、「曾我梅林コース 20km」  
「飯泉観音コース 10km」、「湯河原・真鶴コース 20km」  
\* 11 月 20 日...「尊徳・一夜城コース 30km」、「太閤一夜城コース 20km」  
「小田原城総構コース 10km」、「ファミリーコース 6km」  
「箱根コース 20km」

## 4 大会概要

1 参加申込者数 (登録者数)	事前申込者数	5,153 人				
	11 月 19 日申込者数	452 人				
	11 月 20 日申込者数	314 人				
2 申込者 内訳	男女別	男性	3,130 人(昨年 2,990 人)			
		女性	2,789 人(昨年 2,903 人)			
	一般・中学生以下別	大人	4,449 人(昨年 4,596 人)			
		中学生以下	1,470 人(昨年 1,297 人)			
住所別	市内	県内(市内を除く)	県外			
	2,647 人(昨年 2,482 人)	2,546 人(昨年 2,587 人)	726 人(昨年 824 人)			
都道府県別	北海道	12 人	青森	4 人	岩手	5 人
	宮城	8 人	秋田	6 人	福島	10 人
	茨城	22 人	栃木	29 人	群馬	11 人
	埼玉	116 人	千葉	92 人	東京	290 人
	神奈川	5,193 人	福井	2 人	山梨	4 人
	長野	2 人	静岡	60 人	愛知	6 人
	滋賀	1 人	京都	1 人	大阪	15 人
	兵庫	8 人	岡山	5 人	広島	2 人
	福岡	3 人	佐賀	2 人	長崎	5 人
	熊本	2 人	大分	1 人	宮崎	2 人
	3 参加者数	11 月 18 日(金)	11 月 19 日(土)	11 月 20 日(日)	合計	
小田原コース			4,207 人	4,713 人	8,920 人	
湯河原・真鶴コース			651 人		651 人	
箱根コース				651 人	651 人	
せっかくコース		51 人			51 人	
合計		51 人	4,858 人	5,364 人	10,273 人	

一般質問（教育委員会関係質問事項）

質問順	議員名	質問事項	所管課	NO	頁
2	青木	3（1）北条早雲の偉業を調査・研究する施策について	生涯学習政策課 （観光課）	1	1
4	奥山	2 学校内の安全について （1）危険予知トレーニング（KYT）の導入について	学校教育課	2	1
5	鈴木	2（1）学校2学期制について	学校教育課	3 ～ 7	1 ・ 2
10	加藤	1 学校における防犯、防災対策について （1）本年度実施している携帯メール情報配信サービスについて	教育研究所	8 ～ 11	3 ・ 4
		（3）実践型防災訓練等について	学校教育課	12	
		2 快適な生活環境を目指して （1）自転車無灯火対策について	青少年課	13	
		3 二宮尊徳翁顕彰について （1）報徳サミットについて	生涯学習政策課	14 ～ 17	
		（2）二宮金次郎像について	学校教育課		
12	中島	1 西さがみ連邦共和国連携事業として地域の特性を生かした「第7回おだわらツーデーマーチ」の更なる充実に向けて （1）最近の参加状況等と今後の展開・工夫と改善すべき点について	スポーツ課	18	5
		2 いま、市民が大きな不安と関心をもって見ている数々の社会的事象に対する本市の対応策などと共に市長のご所見をうかがいたい。 （2）新型インフルエンザ	学校保健課 （健康づくり課）	19	
18	関野	1 小田原市の地震・防災対策について問う （1）公共施設、学校施設等の耐震診断と耐震補強工事を進めるべきだが現在の到達点と今後の促進計画について	教育政策課	20	5
20	志澤	2 若手無業者の実情と支援について （2）教育のとり組み	学校教育課 生涯学習政策課	21 ・ 22	6

一般質問

議員	NO	答弁	質問要旨	答弁要旨
青木	1	市長	北条早雲公はじめ北条五代に関して、天守閣などにある資料等を活用して講座を開く等、市民の理解と関心を深めていく施策が必要であると考えがいかかがか。	本市では、シルバー大学等の生涯学習講座で北条氏を取り上げ、歴史観光学科を卒業された皆さんによる小田原ボランティアガイド協会では、観光客はもとより、市民、子ども達にも広く北条氏やその時代についてご案内いただいている。 天守閣においても、特別展のテーマにたびたび北条氏を取り上げ、先ごろでは、北條五代祭り第40回を記念して、「小田原北条氏資料展」を開催した。 今後も生涯学習講座等で積極的に取り上げていくほか、学芸員による「ギャラリートーク」など新たに取り組みについても検討し、広く市民の皆さんに理解と関心を深めていただくよう努めてまいります。
奥山	2	教育長	学校内の安全をどのように確保しているのか。また、危険予知トレーニング(KYT)の導入について、どう考えるか。	学校内の安全については、定期的に教師による校内の安全点検を行っている。 また、児童生徒に対しては、保健の学習で、小学校5年生の「けがの防止」という単元で、中学校2年生の「傷害の原因と防止」という単元で、危険回避能力を高める学習をしている。 これに加えて、学級活動の時間等で、学校生活上の安全ルール等について、随時、指導している。 事故防止の第一歩は、危険を予知することであり、あらかじめ安全に対する構えを持っておくことが危険を回避し、安全確保につながると思う。 これは、奥山議員が紹介された「危険予知トレーニング」のよさでもあるので、このトレーニングを、各学校で、児童生徒の指導や、校内の研修会で教職員が利用できるよう、KYTテキストを紹介していきたい。
鈴木	3	教育長	本市の児童・生徒の学力の状況はどうか、学校は活性化されていないのか、教師は意識改革をしなければならないほどの状態なのかどうか伺いたい	本市の児童・生徒の学力については、学習内容の削減や授業時間の減少の影響は否めないため、児童・生徒の学が意欲をはじめとした学力の向上に、より一層努力していかなければならない状況にある。 学校の活性化については、各学校では、保護者や地域の方と連携しながら特色ある学校づくりを実践しているが、現実には、教師の多忙化の中で限界があり、活性化が滞っている現状がある。 また、教師の意識についても、より良い教育活動などを目指し努力しているが、さらに質の高い授業を作り上げ、子どもとの関わりを充実させることへの意識を高める必要がある。 そこで、これらの学力や学校の活性化、教師の意識などの課題に対して、柔軟に創意工夫できるシステムである2学期制を実施することは有効である。

鈴木	4	教育長	平成18年度全小・中学校2学期制実施の決定に至るまでの経緯と2学期制の実施のねらいについて伺いたい。	<p>教育委員会としては、今回の実施の決定にあたり、昨年度からの市内6校の研究実践校の実践の状況や、2学期制研究協議会において協議された内容、及び他市町の実施の成果や動向などを踏まえて、協議を重ね、その上で決定した。</p> <p>現在、学校教育において、子どもたちに基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育むことや、体験的活動などの機会や場を拡大したりしながら「豊かな心」を育むことがますます求められている。2学期制の実施をきっかけに、学校行事の見直しや教育活動の工夫、生活面での教育相談の充実などにより子どもたちの学校生活の充実が図れることや、授業時間の増加、授業の改善や評価の工夫、学習面での教育相談の充実などにより学力の向上が図れることが大きく期待できると考えている。</p>
鈴木	5	教育長	現在、行われている中学校区2学期制説明会において、保護者からどのような意見が出されているか。また、それらの意見に対して、今後どのように対応していくのか伺いたい。	<p>説明会については、中学校区毎に11月中旬から、計12回実施し、一昨日終了したところである。その中で、保護者の方から、2学期制に関する様々な御意見をいただいているが、主なものとして、通知票は2回になるのか、高校入試は不利にならないか、教職員の多忙化により子どもとかわる時間が減少するのではないか、授業時数はどれほど確保されるのか、学力の向上に本当に結びつくのかなどが挙げられる。</p> <p>これらの御質問に対して、高校入試について不利にならないこと、通知票が減っても、必要な評価資料の提供に努めること、授業時間数は各学校が検討していくが、いずれにしても、学力の向上を目指していくことなどとお答えしている。</p> <p>そして、今後、これらの御意見を踏まえ、不安などの解消に向けて努力し、2学期制の良さを最大限生かし、実施が成果あるものとなるよう取り組んでいきたいと考えている。</p>
鈴木	6	教育長	今後、決定の予定となっている学期の区切りや秋休みの設定、学期の名称などについて、どのように考えているか伺いたい。	<p>保護者・市民の方には、中学校区説明会の中で実施について御理解・御協力をいただくとともに、まだ、決定していない学期の区切りや秋休みの設定、学期の名称、長期休業の日数について、御意見を求めてきた。</p> <p>また、それらの点について、校長会の意向も確認しているところである。</p> <p>これらを総合的に判断して、今月の教育委員会の定例会で決定を予定しているが、今のところ学期の区切りについては10月の第2月曜日体育の日を境とし、秋休みについては特に設けずに、長期休業日の日数は従来通り、学期の名称については前期・後期とする案が考えられている。</p>
鈴木	7	教育長	来年度、2学期制に移行した場合、その効果を検証すべきと思うがどのように考えているか伺いたい。	<p>鈴木議員のおっしゃるとおり、2学期制を実施することにより、各学校が、どのように具体的に実践し、成果を挙げているかを検証していく必要があると考えている。また、保護者の2学期制に対する不安を含め、課題に適切に対応していきたいと思っている。</p> <p>今後は、校長会と連携し、教頭や教務担当者との研究会において分析、検討していきたい。</p>

加藤	8	教育長	試験運用されている各学校の登録者数はどのくらいか。	この携帯メール情報配信サービスは、不審者情報など、学校における緊急を要する内容を、登録している保護者の携帯電話にメール配信するもので、教育研究所の研究として11月1日から、下中小学校、白鷗中学校で試験運用されているものである。 12月1日現在の加入状況は、下中小学校が全校児童445人中、105人、23.6%、白鷗中学校が419人中、140人、33.4%である。
加藤	9	教育長	携帯メール情報配信サービスの効果はいかがか。	この効果については、試験運用しているものであるため、まだ十分な検証はされていない。現在、保護者や教職員に対して年度内にアンケートをとる準備を進めているところである。 これまでの報告事例として、不審者情報を配信した際、保護者や青少年育成会の方々が迅速に動いてもらい、地域をパトロールするなどの対応がはかられたケースがある。 また、保護者がメールを見るまでにかかった時間を調査したところ、メール着信後、10分の間に50%以上の人が見ていることが分かっている。
加藤	10	教育長	携帯メール情報サービスを、地域防災の観点から、地域の参加形態をとることが可能か。	システム的には問題はない。 現在は試験運用の段階であり、対象を保護者・教職員に限定して研究を進めている。年度内に学校評議員や地域の青少年指導員等の参加も検討していく予定である。
加藤	11	教育長	携帯メール情報配信サービスの市内全小中学校への導入の可能性についてはいかがか。	サーバーの管理費用の他に、加入者にもメール受信の際に費用がかかること、個人情報の問題、携帯電話の機種による技術的な問題、携帯電話を持たない方の問題等、今後研究を進めるとともに、アンケートより得られた、保護者、教職員の声を聞きながら検討していきたいと考えている。
加藤	12	教育長	各学校の防災訓練の状況について伺いたい。	まず、各学校では、毎年、警戒宣言の発令を想定した訓練や地震・火災の発生を想定した訓練を実施している。海岸近くの学校では、津波による被害を想定した訓練もおこなっている。 また、児童・生徒の引き取り訓練や集団下校訓練、けが人の搬送、消火器や起震車等を使用した実践型の訓練も実施されている。 いずれにしても、児童生徒の人命救助を最優先に考え、各校の実情に応じた防災訓練を行うよう、指導していきたいと考えている。
加藤	13	市長	青少年健全育成対策本部の街頭指導中における自転車の無灯火に関する報告はあるのか。	現在、青少年健全育成対策本部では、毎週1回、小田原駅周辺及びマロニエ周辺を重点地区と定め、夜間における青少年の非行防止のため街頭指導活動を行っている。 この活動において、無灯火の自転車が多く見受けられており、これらの自転車に対する点灯の声掛けも報告されている。 今後も、歩行者の安全のために、街頭指導活動中において無灯火の自転車を見かけたときは、点灯するよう声掛けを行ってまいりたい。

加藤	14	教育長	<p>報徳サミットに教育長は初めて参加されたが、感想を伺いたい。</p>	<p>報徳サミットに初めて出席したが、会場である真岡市民会館に全国各地から多くの方々が集まり、昨今の二宮尊徳翁への関心の高さが伺われた。</p> <p>報徳サミット全体を通じて、多くの市町村が報徳仕法と関わりがあり、報徳の教えを「まちづくり・ひとづくり」に生かす努力をしている姿勢が紹介され、大変勉強になった。</p> <p>尊徳翁については勤勉家というだけでなく、改革家、教育家、道徳家などの、様々な顔を持った素晴らしい人物であると再認識した。</p> <p>関係市町村では、尊徳翁の教えを教育現場にいろいろな方法で取り入れており、本市でも全小学校で「二宮尊徳学習事業」を実施したり、小学生向けに冊子「二宮金次郎物語」を発行するなど、尊徳翁の事績が学べるよう努力している。</p> <p>小田原市教育委員会としても、今まで以上に郷土の偉人二宮尊徳翁を顕彰し、生誕の地として報徳思想の普及啓発等に更に努力する必要性を感じた。</p>
加藤	15	市長	<p>来年の報徳サミットは小田原で開催される予定と聞いているが、どのような内容で開催するのか、市長の意気込みを伺いたい。</p>	<p>先月開催された栃木県真岡市における報徳サミットにおいて、来年度の開催市に小田原市が推薦され、参加市町村の賛同を得たところである。</p> <p>第1回サミットが昭和63年に本市で開催されており、今回2回目となるが、今までの本サミットの事績を踏まえた上で、生誕の地である小田原らしいサミットにしたいと考えている。</p> <p>開催時期は、二宮尊徳翁の命日が10月20日であることから20日と21日の両日を予定している。</p> <p>サミットの内容としては、捨苗栽培地等尊徳翁の遺跡を訪ねてもらうほか、市民が菩提寺で毎年、自主的に行っている「二宮尊徳先生を偲ぶ集い」に参加していただいたり、「おだわら市民大学報徳塾」や小学校の「二宮尊徳学習事業」の成果等を見てもらう予定である。</p> <p>報徳サミットの開催にあたっては実行委員会を組織し、多くの市民の方々に尊徳翁の偉業を再認識していただく機会としてまいりたい。</p>
加藤	16	教育長	<p>金次郎像を未設置の小学校に設置する予定があるか。</p>	<p>小学校での二宮尊徳学習を進めるとき、学校に金次郎像があれば、関心・意欲を持って学習するきっかけになったり、日頃から身近に金次郎像を目にすることで、学習したことを思い返す機会になったりと、一定の教育的効果につながる。</p> <p>学校では、金次郎の事績をたどったり教えを学んだりするために、平成16年度に教育委員会が作成した読み物資料「二宮金次郎物語」と、今年度作成中の教師用指導資料を活用することで充実を図っていく。</p> <p>また、既存の金次郎像は、寄付等によるものであり、教育委員会として設置することは予定していないが、市民等の自発的な気持ちや善意により像が建立されるのであれば、大変ありがたいことである。</p>
加藤	17	教育長	<p>卒業生の卒業記念作品として二宮金次郎像を製作するような指導を行うともよいと思うがどうか。</p>	<p>尊徳学習の成果として、紙粘土等の手作りの二宮金次郎像を制作している小学校が、今までにも数校あった。金次郎について学ぶ中で、作ってみたいという児童の思いから生まれたものである。</p> <p>児童による像の制作は、技術的、時間的な理由等から難しいが、卒業作品の一つとして、尊徳の絵や版画・レリーフ等を制作することもできると考える。</p>

中島	18	市長	<p>最近の参加状況と、このツーデーマーチは「車椅子」使用の障害者の方々が参加できるような事業に改善されてきたか伺いたい。</p>	<p>城下町おだわらツーデーマーチは、今回で7回目となり、北は北海道から南は宮崎県までの30都道府県から、延べ1万273人と大変多くの参加者を迎え実施した。</p> <p>参加者は第5回大会から毎回1万人を超えており、今では参加者数において、全国でも屈指のツーデーマーチに成長した。</p> <p>コース設定にあたっては、西さがみの特色を生かし、箱根コースでは鎌倉時代に箱根越えとして使われた古道湯坂道を、また、小田原コースでは、観光ボランティアガイド協会や北條手づくり甲冑隊の協力により、戦国時代の小田原城総構の全貌を堪能できるコースを新設した。</p> <p>また、第5回大会から高齢者や幼児、また、乳母車や車椅子での参加も可能なように、比較的平坦で短いファミリーコース(6キロ)を設けている。</p> <p>今後とも、コース選定にあたって障害者団体の意見を聞いたり、コースマップに障害者用トイレの所在を記載するなど「だれでも」参加できるようなコース設定に努めていきたい。</p>
中島	19	市長	<p>学校等のインフルエンザ流行時における対応について伺いたい。</p>	<p>学校等のインフルエンザ流行時における対応につきましては、常に手洗いの励行等実施しておりますが、流行時には健康観察の強化及びインフルエンザによる欠席状況の把握を行い、学校医・園医の指導により必要な感染防止対策を行うこととしている。</p>
関野	20	市長	<p>学校施設の耐震化率はどのくらいか。また、学校施設のうち耐震補強工事が完了していないのがどのくらいあり、今後の計画はどのようになっているのか。</p>	<p>小中学校校舎の耐震診断はすべて完了している。</p> <p>小中学校校舎の耐震補強工事は平成4年度から順次行っており、診断の結果、補強工事が必要な26校のうち、22校が完了しており、達成率は84%となる。ただし、未完了の桜井小学校、酒匂小学校、曾我小学校、矢作小学校の4校についても、10棟のうち3棟が完了している。</p> <p>また、小中学校の屋内運動場については、平成10年度から順次行っており、診断の結果、補強工事が必要な13校のうち、10校が完了しており、達成率は77%となる。耐震診断の未実施校については、小学校は曾我小学校1校、中学校は城山中中学校を除く11校の計12校となる。</p> <p>今後の施工計画については、耐震補強が必要な施設に対して、早期に耐震診断の実施、工事の着工ができるよう、国庫補助の活用を図りながら、限られた財源の中で計画的・効率的に学校施設の整備を進めてまいりたい。</p>

志澤	21	教育長	<p>本市で、義務教育の課程で行っている職業教育の目的、内容、成果について伺いたい。</p>	<p>義務教育の課程で行っている職業教育の目的、内容、成果について質問があった。</p> <p>小学校においては、社会科や総合的な学習の時間に、地域学習や職場見学などを実施し、様々な職業に触れる機会を設けている。また、こどもコミュニティーなりわい体験事業として、農業・商業・工業の体験を行っている。</p> <p>また、中学校においては、「生き方指導としての進路指導」を各学年で計画的にすすめており、仕事をしている人の話を聴いたり、子どもたちが実際に様々な職場へ出向いて、職業調べや職場体験などの学習を行っている。</p> <p>これらの学習を通して、働くことの意義や厳しさ、喜びなどを実感することによって、子どもたちの勤労観、職業観の育成が図られている。</p>
志澤	22	教育長	<p>家庭におけるしつけ等の充実を図るためには、行政の支援が必要ではないか。</p>	<p>教育委員会では、保護者の教育力を高めるため、家庭教育学級を開設するとともに、小中学校の入学時説明会や保護者会等の機会を活用した家庭教育力活性化講座により、家庭教育の重要性を伝えている。</p> <p>また、乳幼児や小学生・中学生を持つ家庭に、それぞれの成長段階に合わせた家庭でのしつけ等に関する情報を掲載した家庭教育手帳を配布している。</p> <p>今後も、子どもの社会的自立を支援するため、家庭教育学級において職業観に関する学習を増やすなど、家庭教育の充実を図ってまいりたい。</p>

## 教職員の不祥事について

### 1 事故の種類 体罰及び不適切な指導

### 2 事故の概要

(1) 発生日時 平成14年4月から平成17年2月までの間

(2) 発生場所 小田原市立中学校

(3) 当事者等 体罰等を行った教員 小田原市立中学校 男性教諭

体罰等を受けた生徒 小田原市立中学校 男子生徒 4名

### (4) 内容

- ・ 生徒の言葉遣いを注意した際、平手及び甲で頬を5回叩いた。
- ・ 生徒を指導した際、約2時間にわたり立たせたまま指導した。
- ・ 視力が弱い生徒の保護者から座席に対する配慮の申し入れを受けていたにもかかわらず、約2月の間、担任として適切な配慮を行わなかった。
- ・ 高校受験に関する提出物について生徒を指導した際、不適切な発言を行った。
- ・ 生徒の保護者から、生徒間のことについて相談を受けた際、保護者に不安を与える不適切な発言を行った。
- ・ 前任校から校長の許可を得ることなく生徒の個人情報記録されたフロッピーディスクを持ち出し、適切な管理を怠ったため、現任校の生徒に渡った。

### 3 事後の経過

平成17年3月に生徒の保護者が来校し、校長に当該教諭のこれまでの不適切な指導等について訴えがあり、学校は事実確認の上、3月末に市教育委員会に事故報告書を提出した。4月以降、市教育委員会として関係者に繰り返し事情聴取を行い、10月に県教育委員会に事故報告書を提出した。その間、当該教諭には、学校を離れ、市教育委員会で研修を行わせてきた。

11月17日、県教育委員会から処分が言い渡され、現在停職中である。

### 4 処分内容

当該教諭 停職4月

校長(平成14年度～16年度) 戒告

## 「おだわらっこドリームシアター」について(案)

- 1 趣旨 子どもたちが質の高い芸術・文化作品に触れ・体感することにより、芸術・文化に対する豊かな感性や感覚を持つ心を育てる。
- 2 主催 小田原市・小田原市教育委員会
- 3 期日 平成 18 年 2 月 23 日(木): 1 日 2 回公演  
午前の部公演 10:00 会場 - 10:30 開演 - 12:30 終了  
午後の部公演 13:30 会場 - 14:00 開演 - 16:00 終了
- 4 会場 小田原市民会館 大ホール
- 5 対象 市内小学校 4 年生全員  
ただし、特殊学級在籍児童については、保護者の付き添いが可能。
- 6 委託先 劇団「四季」
- 7 演目 「人間になりたがった猫」(別紙 1 参照)
- 8 輸送 借上バス及び電車とする。
- 9 集合場所・  
時間等 午前の部: 9:30 藤棚駐車場(バス利用) - 10:00 市民会館 - 13:30 藤棚駐車場  
10:00 市民会館(電車利用) - 終了後、最寄駅へ  
午後の部: 13:00 藤棚駐車場(バス利用) - 13:30 市民会館 - 16:30 藤棚駐車場  
13:30 市民会館(電車利用) - 終了後、最寄駅へ  
午前の部が帰る際に乗車するバスは、午後の部の児童を降車させたバスを利用する。
- 10 午前・午後  
の配分 午前の部: 三の丸・新玉・足柄・芦子・大窪・早川・町田・片浦・千代・  
(981 人) 下曽我・国府津・豊川・前羽・下中小学校  
午後の部: 山王・久野・富水・下府中・桜井・酒匂・曾我・東富水・矢作・  
(981 人) 報徳・富士見小学校
- 11 昼食 全校「弁当」とする。
- 12 招待者等 市議会正副議長・福祉文教常任委員会正副委員長・市長・助役(2 名)・収入  
役・市教育委員(5 名)・その他関係者(2~3 名)の計 15 名程度  
3 月議会開会中のため、出欠は未定。
- 13 協力体制 事前及び当日の準備等については、市教育委員会の職員により行う。また、  
当日は保健師または養護教諭を常駐させる。



劇団四季のファミリー・ミュージカル

# 人間になりたがった猫

ロイド・アリクサンダー原作「人間になりたがった猫」(評論社刊より)  
構成・演出 浅利慶太

作曲 鈴木邦彦 / 振付 山田 卓 / 装置 土屋茂昭  
衣裳 森 英恵 / 照明 紫藤正樹 / 台本 梶賀千鶴子

おはようございます。ふしぎな気持ちだ。

TSVNE

# 人間になりたがった猫

ロイド・アリグザンダー原作「人間になりたがった猫」(評論社刊より)  
 構成・演出＝浅利慶太  
 作曲＝鈴木邦彦／振付＝山田 卓／装置＝土屋茂昭  
 衣裳＝森 英恵／照明＝柴藤正樹／台本＝横賀千鶴子

人間って、とってもステキなんだね!

ぼくは猫のライオネル。ご主人で魔法使いのステファヌス博士に、口答えをしたバツで2日間人間にさせられちゃったんだ。でもほんとはうれしくてしかたがない。ずっと人間になりたかったんだもの。人間の世界は驚きの連続だよ。猫なのに「カモ」なんて言われてたまされたり、火の中にとびこむはめになったり。でもここでぼくは初めて知ったんだ。涙も、恋する気持ちも、人間や仲間への素晴らしさも…。みなさんにぼくの発見したことを全部伝えます! たくさんの人たちとぜひ来てくださいね。

ライオネルより。

あなたもひととき魔法にかかる。

緑深いダンスターの森にすむ猫ライオネルは、ある日ステファヌス博士を怒らせて人間に変えられてしまい、人間たちの住むブライトフォードの町へ出かけます。そこで出会った意地悪なお役人スワガードから、可愛らしい娘ジリアンを救おうとしたライオネルですが…。原作者ロイド・アリグザンダー氏も「魔法のように魅惑的」と絶賛したこの舞台の見どころのひとつは、大掛かりで美しいセット。ジリアンのホテルが火事になる場面は、その迫力に思わず息をつめてしまうはず。また愛すべき登場人物たちによる躍動感いっぱいのダンスや、心あたたまる歌の数々も、見る人をぐんぐん引き込んでいきます。あなたも、ライオネルといっしょに人間の素晴らしさ、仲間の大切さを探しに行きましょう!

公演に関するお問い合わせ: 劇団四季 全国公演本部 〒105-0022 港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル3F TEL.03-5776-6728  
 あなたも「四季の会」に入会しませんか。お問い合わせ・資料請求は「四季の会」事務局まで。TEL.045-903-1038

2005年11月15日(火)

開場18:00 開演18:30

パルテノン多摩

2005年8月13日(土)前売開始!

●S席 5,250円/A席 4,200円/B席 3,150円(税込) ●3歳以上有料

主催:劇団四季 提携:財団法人 多摩市文化振興財団

お問い合わせ:劇団四季 東京公演本部 Tel.03-5776-6730(日祝休)

インターネット予約

SHIKI ON-LINE TICKET

パソコン キーボード

http://489444.com

(※アクセスコード)

(24時間受付、出し忘れ初日のみ午前30時から)

●メールアドレス[メールアドレス]→[エンターキー]  
 ●メールアドレス[メールアドレス]→[エンターキー]  
 ●メールアドレス[メールアドレス]→[エンターキー]  
 ●メールアドレス[メールアドレス]

直接購入

各劇団四季専用劇場

チケットパルテノン

チケットぴあ

ファミリーマート

セブンイレブン

サンクス

電話予約

劇団四季予約センター  
 (午前10時～午後8時)

☎0120-489-444

チケットぴあ

●Pコード予約

(午前10時～午後11時30分)

0570-02-9966

Pコード:363-357

●音声認識予約

(午前10時～午後6時)

0570-02-9999

チケットパルテノン

(午前10時～午後7時)

042-376-8181

●電話予約の際は、必ずPコードを指定ください。  
 また、番号間違いのないようにご注意ください。